



8月、9月のテーマ
出動! 国際緊急援助隊

1時間目	どんな仕事があるの?
2時間目	準備完了、さあ出発!
3時間目	隊員の持ち物見せて!
4時間目	スマトラ沖大地震・インド洋津波

みなさんは、JICAが地震や津波などの災害にあった世界の人たちを助けるために、国際緊急援助隊（JIDR）を送っていることを知っていますか？ 四回シリーズで仕事の内容をくわしく紹介します。

世界の国で助け合い

地震や水害が多い日本は、災害に対する経験があります。その経験を災害にあって困っている世界の人のために役立てています。日本でも大きな災害があったときは、世界の国々から、お見



写真1 地震でたおれた建物で救助（1999年台湾地震）、写真2 けが人を手当て（2004年スマトラ沖大地震、インドネシアで）、写真3 被災地を調べる専門家（2003年アルジェリア地震）

被災地で困っている人を助ける

「みんな人が派遣されるの？ 被災地に派遣されるのです。」
「どんな人が派遣されるの？」
「地震でこわれた建物などに閉じこめられた人たちを助けま

す。警察、消防、海

救助チーム
「地震でこわれた建物などに閉じこめられた人たちを助けま

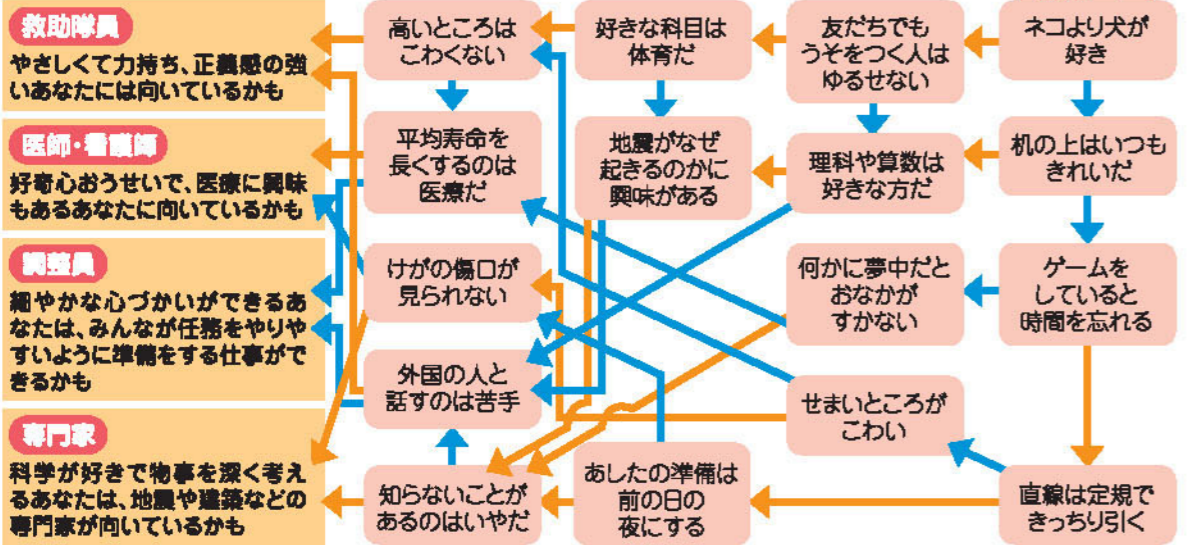
す。警察、消防、海



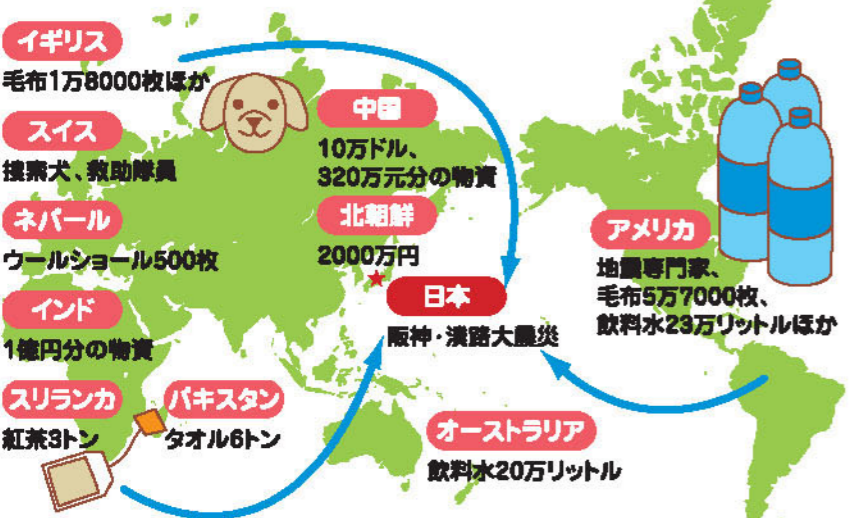
「地震でこわれた建物などに閉じこめられた人たちを助けま

す。警察、消防、海

「はい」(→)か「いいえ」(→)で書いてください。



「困ったときはおたがいさま」



六千人を超える命が失われた一九九五年の阪神・淡路大震災。このとき、海外から多くの支援の手がさしのべられたのを知っていますか？ 左の地図参照。裕福でない国も、心からのお見舞いを送ってくれました。日本が国際緊急援助隊を行うのも、「困ったときはおたがいさま」という精神にもとづいています。

※ほかの国々からもたくさんの援助がありました